

市民の声とインターネット

吉村順子

junko@jca-p.shinagawa.tokyo.jp

インターVネット立ち上げ

2月2日(木)、緊急FAXが届く。「震災被災者を救援するコンピュータネットワークプロジェクトを始めたい。明日の夜、慶應義塾大学大学院教授金子郁容氏の主宰する末廣ハウスでミーティングを行うので、集合されたし」という内容でした。

金子さんとは昨年11月の赤十字シンポジウムで立ち話をしたのがきっかけで知り合いになり、今年からは「非営利組織のための会計講座」に参加しはじめ、末廣ハウスに出入りするようになりました。やっとのことでスケジュールを調整して出かけてみると、私と同じようにFAXを受けた人たちが30人も集まっていました。

被災地のボランティアがあまり組織だって活動していないため、効率の点でせっかくの善意が無駄になっていることを、私は数日前に大阪に行ったとき会った数人から聞いていました。援助物資はテレビによく映る避難所に集中する反面、小さな公園でキャンプしているところなどにはまったく届かないという不公平もパソコン通信の震災関係コーナーで報告されています。

このミーティングで、金子さんはこうした問題を改善するために、情報の収集、インプット、電子ネットワークでの配布を一貫して行うプロジェクトの必要性を説きました。それをできるだけ多くのボランティア団体や市民団体が共有し、日頃から連携体制を持つことで、今回のような災害時のボランティアの活動が効率的になり、結果として被災された方々への援助がきめこまくなるということは、私にも理解できました。

このプロジェクトは、インターネットを軸に行いたいとは思いましたが、翌日も関連のミーティングがあるので、一晩考えることにしました。私が悩んだのは、情報共有のアプリケーションとして、メールを使うかネットニュースを使うかということです。大手商用BBSでネットニュースをフィードしていないところはあきません。ネットニュースの見せ方はBBSによってまちまちですが、ネットニュースに載せればどのBBSでも同じ情報が見られ、発信したものが共有できます。これは、インターVネットの「大勢の人が見る」という趣旨からすると、とても重要に思いました。幸いそのミーティングに参加したメンバーがインターネットを軸にネットニュースを利用するという私の案をととても気に入

ってくれたので、私はインターVネットにネットワーク担当として参加することにしました。

金子さんがコーディネーションを引き受け、さまざまな団体や企業に機材や技術提供を呼びかけました。インターネットに向けてWWWでの情報サービスや、データのアーカイブが可能なシステムを維持する見込みもつきました。各商用BBSへの働きかけもすすんでいます。インターVネットの情報が流れるニュースグループをネットニュースコーナーから独立させ、震災関連コーナーに組み入れることまで実現したBBSもあります。

また、慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)の学生ボランティアがMODEM内蔵ノートパソコンを携え、つぎつぎと被災地入りしています。拠点ごとに配置されたパソコンを地元のスタッフと操作しながら、春休みの間、被災地レポートをBBSから投稿してくれることになっています。

さらに、企業の有志ボランティアが休み時間などに、被災地ではとても対応しきれない紙情報のインプットに組織的に取り組んでくれることになりました。それは、社内ネットワークを通じてインターVネット関連のニュースグループに直接投稿されます。

さまざまな情報がネットワークを通じて集結し、見やすい形で配布されることがどのような力になるか、私にはまだわかりません。しかも、それは国内国外を区別しないインターネットに流れます。海外では、日本全体が地震で崩壊したのではないかと思えるような一面的な報道がされています。これからは、インターネットを通じて組織的な支援の輪が具体的な形で広がっているということ、リアルタイムで知らせることも可能になります。

2月15日の記者会見と同時に、資料をいくつかのニュースグループやBBSに投稿しましたが、ご覧いただけただけでしょうか。これからもニュースレターなどを投稿していきます。インターVネット関連ニュースグループへのみなさんの情報提供をお待ちしています。

①なお、インターVネットへのメールコンタクトは、PAG02023@niftyserve.or.jp へお願いします。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp